



# 講座のご案内

2020年1-2月号 電話  
ファックス 048-866-9466



講座へは、このチラシを見た方どなたでも参加ができます。

## 「発達障がい」ってなんだろう？

「子どもの発達障がい」と「薬」について医療の現場から

日時 2月25日(火) 午後3時~5時  
会場 生活クラブ本部会議室 JR「中浦和」徒歩3分  
さいたま市南区別所5-1-11(裏面に地図あり)  
参加費 1,000円 (テキスト代込み)

近年、発達障がいといわれる子どもが増えているといえます。小さい頃から発達障がいと診断され、薬を飲み続けることは大丈夫なのか、どんな薬が使われているのか、そもそも発達障がいと個性はどう違うのか... 小児科医・児童精神神経科医として46年の臨床経験を持つ石川憲彦さんにお話をききます。

この講座は、生活クラブと大人の学校の共催です。



託児10名まで(申込み〆切2/11)

お話 石川憲彦さん

(小児科医・児童精神神経科医)

1975年から東京大学病院で小児科臨床、障害児医療に携わり、「障害児を普通学校へ」という運動に関わった。2004年東京都目黒区に林試の森クリニックを開業する。著書に『「精神障害」とはなんだろう?』(ジャパンマシニスト2018)ほか多数。

## アーユルヴェーダとヘッドマッサージ 「春」に向かう過ごし方

2月25日(火) 午後2時~4時30分  
毎回好評の講座です。今回はデトックスの季節とされる「春」に向けた過ごし方や、その際の食事の内容、生活の仕方をうかがえます。また、たくさんの効果が期待できるヘッドマッサージも体験します。【定員12名】

場所:生活クラブ生協本部 駐車場なし  
(JR埼京線「中浦和」駅下車 徒歩3分)  
講師:島 はるみさん(ヘアアーティスト歴18年、日本アーユルヴェーダスクール認定ライフスタイルアドバイザー)

参加費:2,500円  
持ち物:肩にかけるフェイスタオル1枚

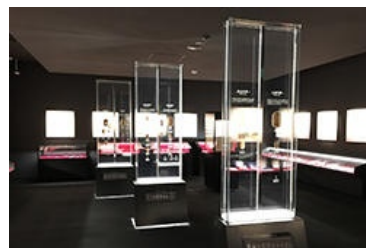


マッサージにすぐ使えるごま油(ミニボトル)のおみやげ付き

## 日本に三ヶ所しかない/ 造幣局と造幣博物館の見学ツアー

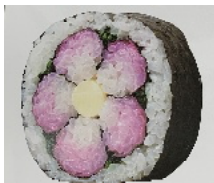
2月13日(木) 午前9時40分集合  
「さいたま新都心」駅 改札を出た正面奥付近  
造幣局は、日本のお金のうち「硬貨」を作っているところです。現在本局が大阪、支局が広島とさいたまの全国でも3か所のみ施設、ツアーでは造幣局のガイドさんに案内してもらいます。自由時間には体験コーナーや博物館グッズを扱うショップなどを楽しめます。お昼は近くのイタリアンレストランでパスタランチのあと14時に解散予定です。【定員20名】

参加費:3,500円  
昼食代、保険料をふくむ



## 3月は桃の節句 太巻き祭り寿司で「桃の花」にチャレンジ!

2月29日(土) 午前10時30分~12時  
もうじき春ですね! ちょっとした持ち寄りパーティや、お子さんのお節句祝いにかわいらしい祭りずしを作ってみませんか? 初めての人でも失敗しない作り方で、ひとり1本作ります。ぜひこの機会にチャレンジしてください。【定員12名】



場所:生活クラブ所沢生活館 (所沢市美原町3丁目 2971-5 西武新宿線「新所沢」駅下車徒歩12分)  
講師:弘光しのぶさん(太巻き寿司のおけいこに通い続けて25年。形が見えるときの楽しさを伝えたい)  
参加費:2,800円 材料代込み

## お江戸オノボリさんぽ 春の深川・水辺を歩く

3月30日(月) 午前9時50分集合  
地下鉄東西線「門前仲町」駅 3番出口地上  
深川は、江戸東京の消費を支える物流の拠点でした。なかでも佐賀町は全国の米が集まった拠点で、現在もその名残で倉庫業を営む会社が多く存在します。今回は、隅田川の穏やかな流れを眺めながら、レトロな佐賀町周辺を歩きます。昼食後に解散です。【定員15名】

案内人:江東区文化観光ガイド  
参加費:4,200円  
昼食代、保険料をふくむ



# 韓国文学はなぜ面白い？のだろう…

12月13日(金) 韓国文学翻訳家の齋藤真理子さんによる『韓国文学はなぜ面白い？』の講演会を開催しました(大人の学校と生活クラブ生協の共催)。



今回の社会運動学習会は、韓国と日本を題材にいまブームにもなっている『韓国文学』の翻訳家である齋藤真理子さんを講師にお話を伺いました。

参加されたほとんどの方が、話題となった齋藤真理子さんの翻訳の『84年生まれ、キムジヨン』(筑摩書房)を読まれているようにまずびっくり！韓国は変化の激しい国で国民がその変化についていくためには生命力が必要でありその生命力が小説の中にも現れている等の話から、朝鮮半島の歴史やその問題点、日本の文学のこと、韓国の女性作家の活躍ぶりなど多岐にわたり興味は尽きませんでした。

以下、アンケートの回答から抜粋しました。

朝鮮文学の歴史から話していただきおもしろかった。兵役が大きく作用していることもよくわかりました。Yさん

なぜいま韓国のフェミニズムが元氣なのが立体的に理解できました。大塚さん

とてもすてきな時間、心の栄養になりました！齋藤先生のユーモアある語り口で流れるようにひもとかれていく韓国の歴史を身近に感じました。Kさん

韓国という国の背景を知ることができました。まさに今を生きている人たちなんだとわかりました。伊藤さん

日本内、埼玉内で生きているだけではダメだなあと実感できました。中野さん



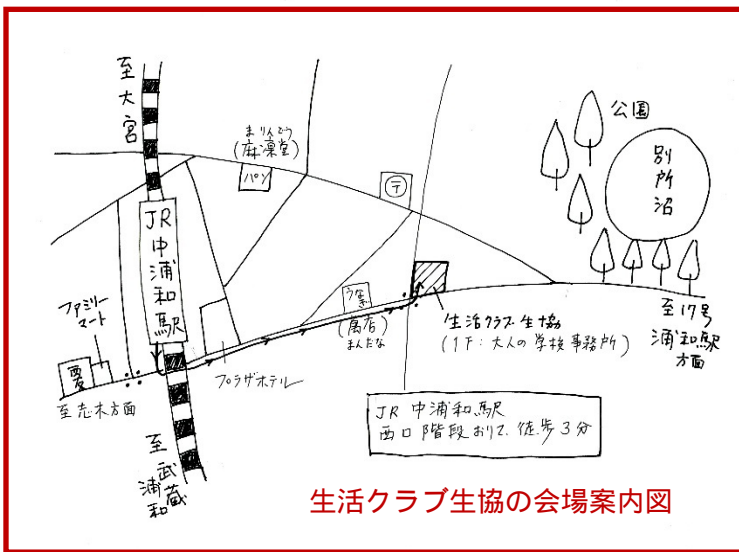
## 被災地を忘れない！ 1冊の本がつなぐ応援の輪

大人の学校は、被災地を応援しています。岩手県陸前高田市立図書館の本を充実させるための寄付を継続して行っています。被災地を忘れず、つながり続けるための取り組みとして継続しています。(2019年12月末現在の寄付額約26万円)

賛同いただける方は、生活クラブ本部1階 談話室内の大人の学校事務所まで本をお持ち下さい。



取扱いできないもの ISBNのない本、百科事典、個人出版本、マンガ、一般雑誌など。古いものや汚れているものもNGです。



## 大人の学校スタッフのつぶやき

年末にあるイベントに参加し、その際の交流会で参加者のひとりが占い師であることを知り、なにか占ってくださいよと問いかけると、「2020年はとてもすばらしい年なのよ」とのこと。「誰にとってもよい年」とも。なんでも星回りが2000年に一度やってくるたいへんめずらしい年なのだから。

なんだか世の中どんどん悪くなっているような気がするこの頃、それでも悪い年と言われるよりは良い年になると言われたほうがうれしい。気分は前向きになる。

一年の計は元旦にあり、で今年の目標を立てた方や新しいことに挑戦する方も多だろう。みなさん安心して下さい、今年はきっとうまくいきますよ！



(デラシネ酒場)

お問い合わせ先

## NPO法人 大人の学校

336-0021 さいたま市南区別所 5-1-11  
電話/ファックス 048-866-9466  
メール [otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp](mailto:otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp)

お電話の場合は平日の10時～16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。

<http://www.otonanogakkou.org/>